

市民のページ

お届けします 「八重の桜」通信



2013年の大河ドラマで、会津藩士の娘・新島八重を主人公にした「八重の桜」が放送されることになりました。ここでは、新島八重に関する歴史やドラマに關連することなどを紹介していきます。

その5

籠城戦の様子

8月23日、西軍の攻撃をいったん退けた藩

士たちは城へ戻り、そこから籠城戦へ突入します。その日の夕方、西軍への夜襲

が決まり、八重も参加するために、高木時尾に髪を切

ってもらいます。この高木

時尾とは、八重が針仕事を

習っていた高木家の娘です。

後に元新選組三番隊隊長で、

戊辰戦争では会津藩と行動

を共にした斎藤一と結婚し

ます。

八重は大小の刀を差し、

ゲベル銃を手に夜襲に出ます。八重たちは大

手門を出てしばらく進むと敵兵を確認し、銃撃します。後に八重は暗闇だったため、的の程は分からなかったと語っています。

翌日、八重は一人で夜襲に出ようと太鼓門

まで来ます。すると、11

2歳の子もたちが、槍を

手に同行したいと願い出ま

す。子どもまでもが命を

捨てる覚悟だと知り、八重

は胸を熱くします。しかし、

子どもを連れての夜襲は問

題だと考え、容保に伺いを

立てます。ここで容保は、

城内に兵がないことを敵

に示すことになるとの理由で出撃中止を命じます。さらに八重には、照姫の御側役心得に就くよう命じます。これにより八重が城外に出たのは、最初の夜襲だけだったと考えられます。

籠城から三日後、西軍最新のアームストロング砲

を備えます。そして西軍は、

9月14日から15日にかけて

総攻撃を行い、日に二千数

百発の砲弾が城内に着弾し

ました。弾には火種がつい

ていましたが、着弾から爆

発まで若干間があったため、

城内では弾をぬれ布団で覆

ったり、水をかけたりして

爆発を懸命に阻止しました。

会津藩も西軍に大砲で

応戦します。攻撃の

中心となったのは、八重

の最初の夫・川崎尚之助で、

八重も夫を助けます。しか

し、会津藩の大砲は旧式だ

ったため、西軍に大きな被

害を与える、とまではいき

ませんでした。

▼監修：会津歴史考房主
宰・野口信一さん



西軍の砲撃を浴びて無残な姿になった鶴ヶ城天守閣。この後、明治期に天守閣は解体されますが、昭和40年に復元されます。さらに昨年、屋根が赤瓦にふき替えられ、現在は、八重たちが見ていた幕末当時の姿となりました